

まほろばの丘から

[文責]

校長 江頭 雄一郎



本年も、よろしくお願いたします！

冬休みが明け、後期後半の教育活動がはじまりました。後期後半もこれまで同様、家庭・地域と学校が連携・協働し、「よく考え心豊かにたくましく国際社会を生きる子どもの育成」をめざしていきたいと考えています。

後期後半開始の全校朝会では、子どもたちに二つのお願いをしました。まず一つ目は「準備」を頑張ること。二つ目は「感謝」の気持ちを表すことです。

後期後半は、本年度の学習と生活の両面におけるまとめの時期となります。このまとめをしっかりと頑張り、自分自身にチャレンジしていくことは、次の学年、次の学校（中学校）への準備にもなります。

また、本年度の自分の成長は、自分自身の頑張りによるものですが、その頑張りを支えてくれた人が身の回りにはたくさんいます。自分は誰に支えてもらっているのかをじっくりと考え、感謝の気持ちを伝えることで、思いやりの心が大きく育っていきます。

偶然にも全校朝会の6年生が発表した作文で「準備」と「感謝」が述べられており、これからの子どもたちの成長がとても楽しみにになりました。

この「準備」と「感謝」を柱に、よく考える子ども・心豊かな子ども・たくましい子どもを育てていきます。



【全校朝会で作文を発表する6年生】

だにしっこカード：ミッションⅢ

後期後半も子どもたちの非認知能力育成をめざし、だにしっこカードの取組を行っています。

1月の生活のめあての「気持ちのよいあいさつをしよう」に合わせ、ミッションⅢは「相手が気持ちよくなるあいさつをしよう」にしました。これは、「だにしっこ」の合言葉の「にっこりあいさつ」の達成にもつながるものです。

これまで（1月16日現在）にミッションを達成し、ミニ賞状を手にした子どもは、のべ108名。学校だけでなく、家庭でも地域でも自分から進んであいさつをすることで、社会性を高め、多くの人と心をつなげていってほしいと願っています。そして、素敵なあいさつがいっぱいの太宰府西小学校区になることを期待しています。

